

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

記入年月日

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

（1）事務事業の概要

①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
手段	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプを誘致することにより、市民と海外のトップ選手が交流する機会を設け、スポーツへの関心の向上を図る。</p>	<p>○相手国競技団体との調整 • 事前キャンプ受入計画作成 ○国内の受入体制の整備 • 国内競技団体等、関係機関との調整 • 練習会場や宿泊場所、移動手段等の確保 • 広報啓発活動 ○市民交流事業の企画 • 選手との交流イベントの計画、実施</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
事前キャンプの準備を進めるとともに、市民への周知のため広報活動を行う。	事前キャンプ開催	回	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
	事前キャンプ広報	回	0.00	7.00	8.00	8.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市民	人口	人	0.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高め、スポーツへの関心を高める。	事前キャンプ観覧者数	人	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00
	選手との交流事業参加者数	人	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		30年度	01年度	02年度			期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)				
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金 千円	○	○	○		○	
		県支出金 千円	○	○	○		○	
		地方債 千円	○	○	○		○	
		使用料・手数料 千円	○	○	○		○	
		その他 千円	○	○	○		○	
		一般財源 千円	○	1,502	11,992		○	
		事業費計(A) 千円	○	1,502	11,992		○	
		正規職員従事人数 人	0.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	1,502		19 負担金補助及び交付金	11,992	
合計		1,502			合計	11,992

事務事業名 誘致事業	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ	事務事業No.	20404001052	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定され、市民の国際相互理解の増進のため、市民と縁のあるブルガリア共和国とモンゴル国の事前キャンプ誘致をスタートさせたことがきっかけである。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている オリンピックに出場する海外選手が市で事前キャンプを行うことで、競技や海外への関心が高まり、スポーツ振興や国際感覚の増進に役立つ。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプは、自治体と相手国競技団体等との契約に基づくものであるため。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 広報啓発活動を行うことで、より多くの市民への周知を図る。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事前キャンプは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や国際交流の発展につながり、市民文化の向上につながっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 余地がない 桜川市国際交流協会と連携して取り組んでいる。
	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事前キャンプ実施にあたって、相手国の滞在費等負担が必要となる。また、射撃事前キャンプの実施には、射撃大会の開催と銃器弾薬等の持込みに係る費用等が必要となるため、大幅な事業費の削減は難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 事前キャンプ時になるべく多くの市民が参加できるよう機会を設ける。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は合意書を締結しているモンゴル射撃チームの事前キャンプの準備を中心に取り組んだ。相手国競技団体との調整、国内の射撃競技団体や警察等との打合せを重ね、国内の関係機関と連携して取り組める体制づくりを進めることができた。																			
(3) 今後の事業の方向性																				
(複数回答可) □ 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → □ 改革改善を行う → (□ 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 □ 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 □ 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる) □ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																				
新型コロナウィルス感染症の流行のため、市民と海外選手との交流事業の実施が課題である。十分な感染予防対策を施し、交流事業の実施に向けて取り組みたい。																				
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成 果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向 上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成 果	コスト			削減	維持	増加	向 上	○			維 持				低 下			
成 果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向 上	○																			
維 持																				
低 下																				
(6) 事務事業優先度評価結果																				
成果優先度評価結果																				
(8)																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A: 繼続(現状維持) B: 繼続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>